

自分達の行いは正しく、原爆も正当化されると言ったアメリカ人共和党学生、暗い歴史の記憶を抱き日本の行いに反感を抱いている中国、韓国人留学生、そして太平洋戦争までの日本の行いはやむを得ない側面があったと考えている一日本人としての自分。日本では感じる事の出来なかった、「世界における日本人」としての自分に、留学して出会うことができました。「日本人」である自分は、「日本の歴史」という重い背景を背負っています。もちろん、自分が話したのはその国のごく一部の人たちであり、全体化できないことは分かっているので、ここでは一例として考えてもらえたらと思います。アメリカ人、中国人、韓国人が第二次世界大戦をどのように考えているかは本の上では知っていましたが、直接自分の友人としてこの問題を話し合うと、価値観、歴史観の違いに愕然とします。それぞれの認識の前提が違うため、議論がかみ合わず、また問題の特性からとかく感情的になりがちです。「多様な価値観を学ぶ」を目標として掲げていた自分ですが、そのあまりにもギャップに形容しがたい無力感、もしくは疲労感を感じました。

価値観の相違、ギャップを前提とした上で、どうやって彼らと交流していけばいいのか。国際紛争の授業で習ったことには、紛争解決において、お互いの価値観、歴史観の違いを踏まえた上で、対立、強制、妥協、第三者の介入でもなく、双方がお互いにとって新しい共通の土台を作り上げることをガンディーの Satyagraha (サチャグラハ) というそうです。学生団体 (サークル)、友達との会話、授業などから、段々と自分のしたいことが見えてきました。「日本人」であることを意識しながら、背景の異なる人たちともっと話して、違いは違いとして認識して、そこから話し合っ て共通となる土台を探っていけたらと思います。韓国人であるルームメイトとの領土問題に関する先の議論は深夜遅くまで続きました。感情的にもなりましたが、最後には双方の意見の違いを認め合っ て、互いが共有できる事実前提の確認をすることができました。深夜に議論に疲れてお腹が減った僕たちは、互いの家族から送られてきた材料を組み合わせてキムチ味噌ラーメンを作りました。これの、なんとおいしいことか！これからも、違いを乗り越えて一緒になった、たくさんの「キムチ味噌ラーメン」を味わえたらと思います。ダイエットに失敗したら、原因はこれです。

ご意見がございましたら、
baba_takeo@hotmail.com へどうぞ。

近況は <http://blog.drecom.jp/nobitakeo/> にてブログを更新中です。



カリフォルニア州共和党大会にて、共和党シンボルの象のマスコットと。自分とは異なる意見の持ち主とも、仲良く×2。

馬場 健夫

ばば たけお

早稲田大学政治経済学部政治学科3年在学中

現在、University of California, Santa Barbara 校へと一年間の交換留学中

編集長から一言

早稲田大学の留学生のリレー・エッセイ。
UCSBの馬場君の2回目です。

留学直後は、勉強についての不安が話題の中心でした。しかし、短い適応期間を終えると、このエッセイでも分かる通り、持ち前の積極性を発揮して、多くを学んでいます。

この積極さは、学校だけではなく、UCSBから車で10分のところに住んでいる、私の25年来の友人のマイルズファミリーに紹介したところ、何度となく訪問し、アメリカ人の家庭の雰囲気や親子関係などを熱心に観察しているようです。もちろん、家庭料理も含めて。

残念ながら、馬場君の留学は今年の夏で終わりです。9月からはまた早稲田です。残された日数も少なくなってきましたが、まだいろいろ計画があるようです。次のエッセイが楽しみです。